



第36回

名古屋高速道路公社料金問題調査会

「より利用しやすい料金」の実現に向けて

名古屋高速道路公社

現行料金制度の経緯

S48 道路審議会答申(国)

公平負担の観点からは対距離料金制が望ましいが、都市高速道路では、以下の理由により、均一料金が妥当

①(料金收受の迅速化)

都市高速道路では、大量の交通を能率よく円滑に処理することが重要であり、**対距離料金制を採用すれば**、料金体系が複雑化し、料金徴収事務に負担がかかり、**利用者には時間的損失を与えることとなる。**

②(出路の料金所設置が困難)

対距離料金制を採用すると、構造上出路に付加的スペースが必要となるが、**現実問題として入手することは困難。**

③(長期的トリップ長の類似分布で負担の公平と矛盾しない)

都市高速道路を利用する車両は、業務交通を主体としており、そのトリップは、非定型的かつ極めて流動的であること及び都市高速道路が網を形成していることから、一定の圏域においては、**長期的に見れば、それぞれの車両のトリップ長はほぼ類似の分布を示すものと推測され、均一料金制を採用するとしても利用者の負担の公平という観点と著しく矛盾するものではない。**

他の都市高速道路と同様に、道路審議会答申に基づき、第一期供用(S54)より、均一料金制を採用し現在に至る

均一料金制の利点

名古屋高速道路が採用する均一料金制の利点（公社HPより）

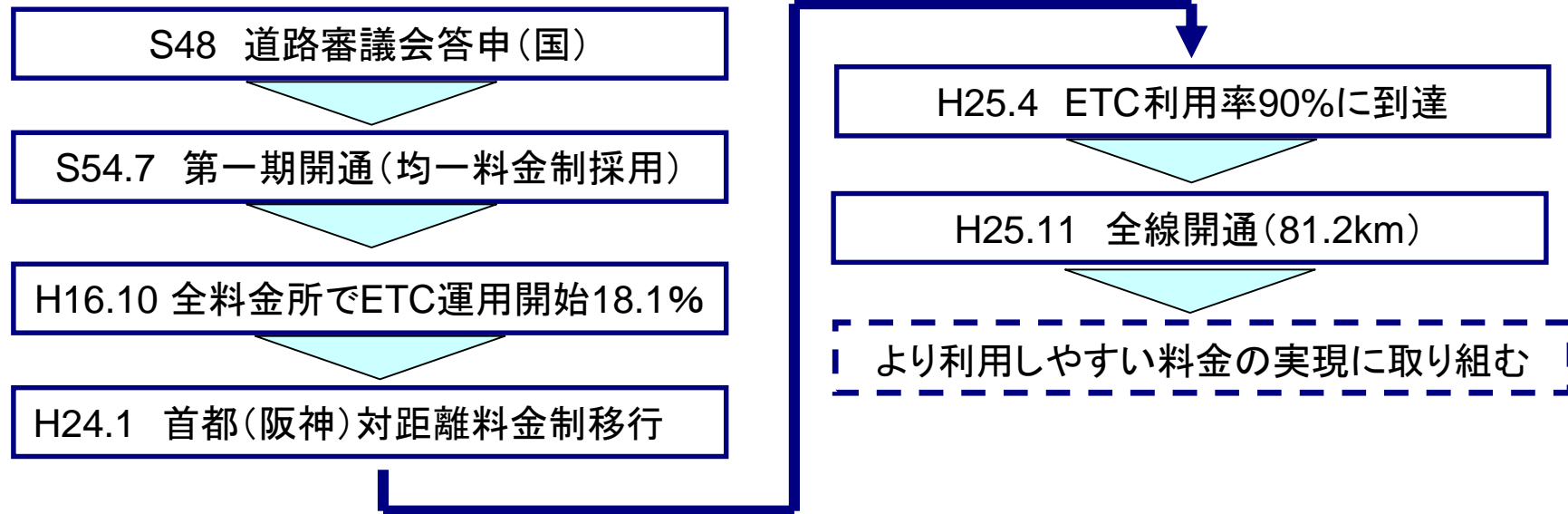
- ①料金体系が簡素なため料金収受にかかるコストが抑えられること
- ②利用距離が長いほど割安となるため、長距離交通の高速利用を促すことから、平面道路との役割分担の効果が高くなること



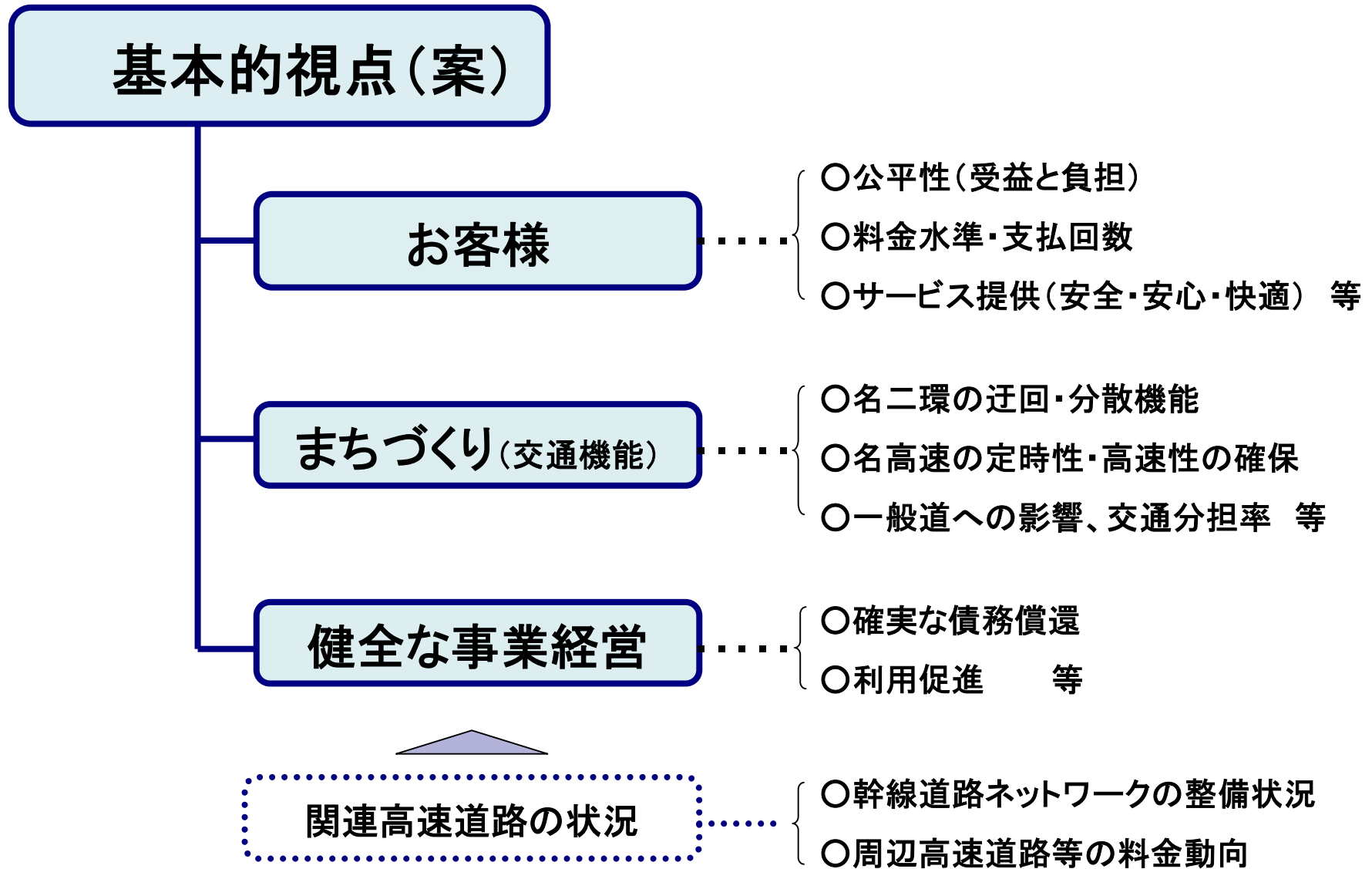
図 名古屋高速道路の料金体系

料金環境の変化

- 近年ETCの普及(利用率90%超)により、ETC車に対し出口での迅速な料金収受が可能。
- 首都(阪神)高速道路が、H24年1月より均一料金制から対距離料金制に移行。
- 全線完成を契機に、均一料金制の利点も踏まえつつ現行料金制度を検証し、ETC利用を前提とした「より利用しやすい料金」の実現に向け料金制度の検討を行う。

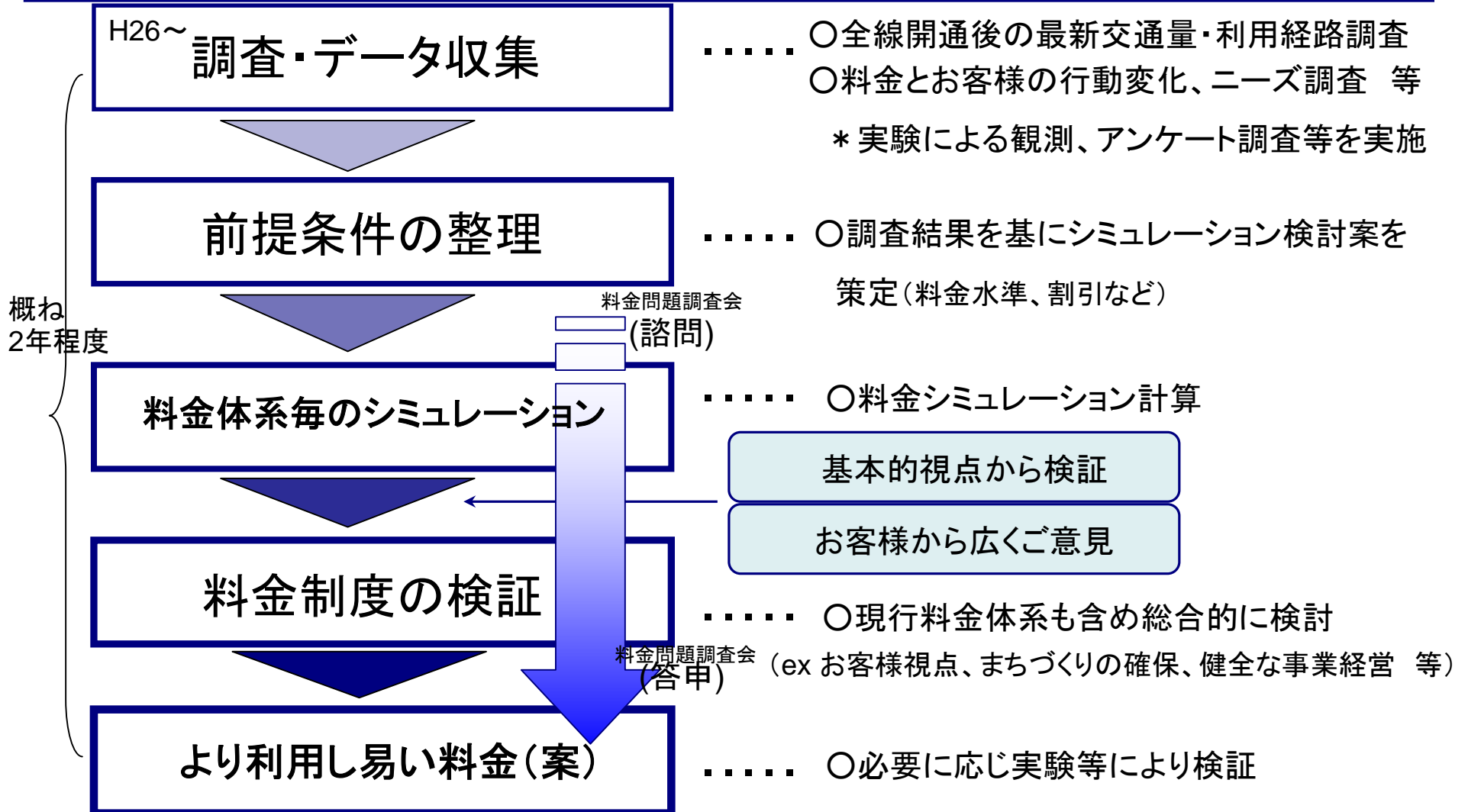


検討にあたっての基本的視点(案)



検討の進め方(案)

- ◎「より利用し易い料金」の実現に向け、関係機関(愛知県・名古屋市・公社)で構成する「名古屋高速道路の料金とサービスのあり方に関する検討会」において検討に取り組む。
- ◎準備が整い次第、料金問題調査会に諮問をお願いするとともに、お客様から広くご意見を頂く場(利用者団体・モニターヒアリング、アンケート等)を積極的に設け、制度設計に活かすよう取り組む。



	均一料金制	対距離料金制
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・料金体系が簡素で分かり易い ・利用距離が長いほど割安となるため、長距離交通の高速利用を促し、平面道路との役割分担の効果が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の程度に応じた公平負担 ・短距離の利用がし易いことや交通状況に応じた経路選択の自由度が高いなどのことから、高速道路の有効活用が図られる
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークの拡大により、利用距離にばらつきが生じると、短距離利用と中・長距離利用で不公平感が生じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・料金体系が複雑で分かり難い ・利用出口の把握ができない現金支払車は、上限料金での課金となりETC車と料金負担に差が生じる
都市高速での採用	福岡高速道路、北九州高速道路、名古屋高速道路	首都高速道路、阪神高速道路、広島高速道路

※ 一般的な知見に基づき、均一料金制と対距離料金制の特徴、課題を整理したもの

※整理においては、出口料金所を新たに設けることなく距離に応じた課金が可能なETC設備の活用を前提とし、建設スペースが確保できない出口料金所の設置は想定していない

首都高の対距離料金制への移行コンセプト

首都高速ネットワークの充実に伴い利用距離のばらつきが拡大しており、早期に是正する必要



利用の程度に応じた公平な料金制度

慢性的な渋滞が発生している一方で、ネットワークの端末区間で容量に余裕のある(空いている)区間も存在



渋滞を避けた利用や短距離利用を容易に

民営化後45年以内で債務を返済するためには、さらに多くのお客様に利用いただく工夫が必要



利用しやすい料金制度とし、多くのお客様に利用いただく

対距離料金制への移行(2008年度)

※2008年度は当初の目標で、実際は2012年1月より移行

1. お客様間の負担の公平性の確保

2. 渋滞緩和・環境改善

3. 確実な債務返済